

共同印刷グループ、2025 年度 CDP の気候変動分野において 「A-（リーダーシップレベル）」の評価を獲得

共同印刷株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：大橋輝臣）は、国際的な環境情報開示プラットフォームを運営する CDP が実施する 2025 年度の気候変動分野に関する質問書において、「A-（リーダーシップレベル）」の評価を獲得しました。

CDP は、世界の企業や組織を対象に、気候変動をはじめとする環境課題への対応状況について情報開示を求め、その内容を国際的な基準に基づいて評価を行う非営利団体です。「A-（リーダーシップレベル）」は、気候変動への対応が経営レベルで体系化され、一定の先進性が認められた企業に付与される評価です。



今回の「A-」の獲得は、当グループが気候変動を重要な経営課題の一つと位置づけ、経営層の関与のもとでグループ全体としての体制整備や情報開示を進め、気候変動に関するリスク・機会の整理や、温室効果ガス排出量の把握と管理など、基礎的な取り組みを着実に進めてきたことが、総合的に評価されたものと受け止めています。

また、CDP では、脱炭素社会への移行を見据え、気候変動への対応を事業活動とどのように結びつけ、実効性の高い取り組みとして発展させていくかが重要な要素とされています。当グループは、今回の結果を一つの節目と捉え、今後も、環境負荷の低減と事業の持続的成長の両立をめざし、着実な取り組みと情報開示の充実に取り組んでいきます。

・TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）

<https://www.kyodoprinting.co.jp/sustainability/environment/tcf/>

・気候変動

<https://www.kyodoprinting.co.jp/sustainability/environment/climate-change/>